



いちよう

発行日 平成28年4月25日
発行者 小山市立福良小学校長
中島 利雄

平成28年度の学校経営について

こういう子どもに育てたい！という本校の学校教育目標は、昨年度に引き続き、「心豊かで助け合う子ども」「よく考え自ら学ぶ子ども」「健康でたくましい子ども」の3つです。知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成に努めます。

また、今年度はこの3つの目標に関連して、「①明るく元気なあいさつをしよう ②ノートに自分の考えを書こう ③いろいろな運動に挑戦しよう」の3点を指導の重点として取り組むことにしました。後日、学校評価項目として感想をお聞きすることになると思いますので、よろしくお願いします。

なお、4月8日（金）の始業式では、2～6年生に「あいさつ」「整理整頓」「一人一人を大切に」の3つをお願いし、4月11日（月）の入学式では、1年生に「出来るだけ早く学校生活に慣れ」「みんなのことを考えながら行動し」「身の回りのことは全部自分で」の3点をそれぞれお願いしました。また、4月20日（水）の全校集会では、「学校は、先生の魂と生徒の魂がふれあう場所だ。それではじめて生徒は何かを体得するのだ。一生忘れられないものを身につけるのだ。」「たったひとりしかいない自分のたった一度しかない人生を本当に生かさなかったら、人間生まれてきたかいがないではないか」という山本有三の2つの言葉を引用し、人間関係と自他の尊重についての話をしました。

授業参観・学級懇談会・PTA総会開催

4月22日（金）、新しい学級担任の先生のもとで、今年度はじめてとなる授業参観が開催されました。保護者の皆様も多数来校され、子どもたちはふだんよりも緊張した様子で授業に取り組んでいました。その後、学級懇談会に引き続いて、PTA総会が開催され、事業計画案や予算案、新役員案が承認されました。また、この日、永井前PTA会長様と栗原前校長先生の掲額式も挙行されました。



今年もツバメが飛来

校舎のまわりをツバメが頻繁に飛び交う季節となりました。校舎の軒下の排気口付近にヒナを育てるための巣作りが始まりました。そこで、ヒナとフンの落下防止のため、星野先生に排気口の数に合わせてダンボール製の台を用意していただきました。これで、ツバメの巣作りや子育ての様子が間近に観察できます。

絹分遣所見学会

4月17日（日）、小山消防署絹分遣所の見学会が開催されました。当日は、分遣所の職員の方から説明を聞きながら、建物内部や新しく配備された消防自動車や救急車の見学、起震車や煙道の体験を行いました。保護者の皆様には、会場までのお子様の送迎ありがとうございました。

